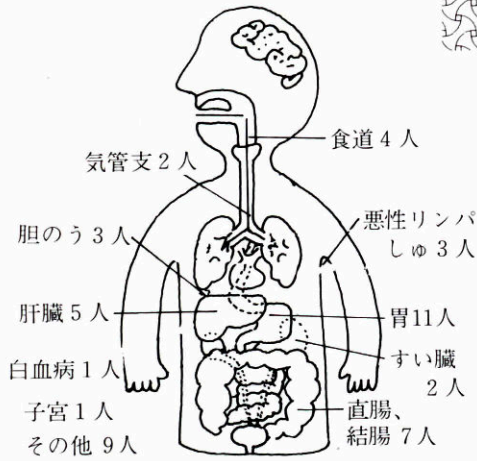


# あなたは本当にだいじょうぶ？ 受けようガン検診

昭和59年  
部位別がん死亡者数  
(長門市) 48人



昨年1年間に218人の市民が亡くなりました。この中で、成人病と言われるガン・脳卒中・心臓病で亡くなった方は、152人です。

何と、死亡者の10人に7人までが成人病で亡くなったこととなります。

今年もまもなく成人病の集団検診がはじまります。例年のように受診の呼び掛けをしますが、受診される方は少ないようです。

「わたしは、おれは、だいじょうぶだ」と思っておられる方が大多数です。しかし、特にガンは自覚が無くても検診を受けた方がよいと思います。だいじょうぶと思っているあなたにぜひ読んでいただこうと思って、2人の方の体験談を短文にまとめました。

あの時検診を受けていたならと  
今でも悔まれます

東深川 Aさん(農業)

主人は前勤めていた会社を定年退職してからも、毎年胃ガンの検診は受けていました。

たまたまその年は、市の検診の指定日に、所用で出かけて受診出来ませんでした。その時主人は、「あーあ、今年は胃の検診が受けられないなあ」と言っていました。このことが、後日重大なことになるうとは私は、夢にも思いませんでした。当時私は主人の体、特にガンについては心配もしておりませんし、私自身ガンに対して何の関心もありませんでした。主人は健康でした、何の自覚症状もなく、病気一つせず過しておりました。

翌年、市の胃ガン検診を受けました。この時も、健康そのものでした。いえ、正確には健康のように見えました、と言うべきでしょう。結果は、精密検査を受ける必要がありました。

主人は「何でやろう、俺は快食・快眠・快便の健康優良児だ」と笑っておりました。数日して、精密検査から帰り「医者が、胃に気になる所があるから、早い内に手術をするよう言われた」と、気軽に私に話しました。主人は農繁期を終えて、入院するつもりの方でしたが、

早く入院するようにとの医者の言葉で、田を気にしながら入院しました。私は付添のため病院へ行き、先生にあいさつに伺って、主人がガンであることを聞きました。しかも、あと半年の命と告げられました。あまり突然で、一瞬自分が聞き違えたかと思いました。それから体が震え、止めどなく涙が流れ、体から力が抜けて、立っておれなくなり、長い時間トイレにいました。ガンとは知らないまま手術を終り、一か月後には本人

何気なく受けた検診で  
助かった私

西深川 Bさん(主婦)

それまでのわたしは、ガン検診など思いもしませんでした。別に体調が悪いわけでもなく、検診の必要を全然感じておりませんでした。市の広報で、ガン検診の申し込みの記事が掲載されていて、自分には関係ないと思って、詳しく読むこともありませんでした。こんなわたし

が婦人ガンの検診を受けようと思ったのは、同級生がガンの手術を受けたという話を聞いて

の強い希望で退院しました。しかし、しばらくして再入院しました。再入院の日の朝、家を出る主人を玄関で送りながらもう二度と歩いて、帰ることはないだろうあの人の後ろ姿をしっかりと見ておこうと思いましたが、涙でかすんでよく見えませんでした。それから一か月後、本人はガンとは知らないままに死亡しました。

今私が悔やまれるのは、たった一年、検診を欠かしたことです。あの時、私が口やかましく言っ、病院でも検診を受けさせていたらと思ひ、またそれが妻の役目だったのではないかと、長い時間トイレにいました。ガンとは知らないまま手術を終り、一か月後には本人

の目を見た途端、顔からスーッと血が引いて行くのがはつきりとわかりました。全身の力が抜けてイスからざり落ちそうになり、心臓はドキドキし、頭の中がボカンと空白となつて考えがまとまりません。でも、体が震えて死ぬのかなあという気持ちになつたことだけは今でも覚えています。予想すらしなかつた結果だけにショックは大きく、その後医師が何を言われたか全然覚えておりません。どうして自宅へ帰つたかさえも定かではありません。その日一日は虚脱感から何をするのも嫌で、昼も夜も食事を取らず、一睡もしないで朝を迎えました。一夜明けて最初に頭に浮かんだことは子供のことでした。

このまま幼い子供二人を残して死ねない。死んではいけない、死にたくない、生きたい、という感情が沸き上がつて来ました。「生きるぞ!」と大声で叫びました。すると不思議なもので、体に力が満ちて来ました。

幸い早期発見だったためか、手術の経過も良く、その後三年を過ぎました。今では病気ひとつせず、健康な毎日を送っております。あれからは、毎年胃の検診を受けています。異常がないから検診を受けるのです。

ちようど今、二人の子供が学校から帰つて来りました。一年生と

五年生になりました。

でも医師の目は真剣でした。こ

う」と言いそうになりました。